



平成 20 年 2 月 7 日

各 位

株式会社 アプリックス

東京都新宿区西早稲田二丁目 18 番 18 号

(コード番号：3727 東証マザーズ)

代表者 代表取締役 会長 郡山 龍

問合せ先 開示業務部 部長 森川 浩之

電話番号 03-5286-8436

平成 19 年 12 月期 通期の業績予想修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 5 月 15 日に公表した平成 19 年 12 月期（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 12 月期通期業績予想の修正（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益 (△営業損失)	経常利益 (△経常損失)	当期純利益 (△当期純損失)
前回発表予想 (A)	6,000	△1,000	△1,000	△7,500
今回修正予想 (B)	6,763	97	322	△7,018
増減額 (B-A)	763	1,097	1,322	482
増減率 (%)	12.7	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 12 月期)	6,587	△1,450	△1,268	△1,608

(2) 単体

(単位：百万円)

	売上高	営業利益 (△営業損失)	経常利益 (△経常損失)	当期純利益 (△当期純損失)
前回発表予想 (A)	5,900	△1,100	△1,100	△15,200
今回修正予想 (B)	6,555	49	250	△14,655
増減額 (B-A)	655	1,149	1,350	545
増減率 (%)	11.1	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 12 月期)	6,426	476	640	331

ご注意：本プレスリリースは、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。
本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。
よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

2. 修正の理由

製品売上高は、国内においては、Java を活用したサービスの広がりに伴う対応端末の拡充、海外においては、シェア争いにより一時的に低迷していた顧客メーカーのその後の順調な回復や、その他の海外メーカーの採用拡充などに伴い、前回予想よりも出荷台数が大幅に続伸し、それに伴うロイヤリティ収入が予想を上回りました。また次世代 Java を中心とした開発案件においても、前回予想以上の売上を達成することができました。

この結果、前回予想より単体業績において 655 百万円、連結業績においても 763 百万円の増加となり、連結売上高は 6,763 百万円となり前年の 6,587 百万円を上回る見込みです。

費用面につきましては、ミドルウェア・フレームワーク事業の中断に伴う研究開発・製品開発の縮小を行うと共に、社内人材の既存事業への転換、内製稼働率の向上、さらにはコスト増大要因となっていました外注費の削減を積極的に図ってまいり費用の削減に努めてまいりました。

この結果、投資有価証券の評価損として 485 百万円を特別損失として新たに計上することになりましたが、連結・単体とも営業利益・経常利益につきましては黒字転換を達成する見込みとなりました。

以上の結果、前回の当社予想を上回る見通しとなったことから、業績予想値を上記のとおり修正いたしました。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因によって上記予想数値と異なる場合があります。

以 上